

(横軸ポンプ 完成例)

△△△△排水機場
仮復旧マニュアル

(令和 ○年○月作成)

目次

【Ⅰ 基本編】

第1章 基本方針	1
(1) 復旧目標	1
(2) 対象設備範囲	1

【Ⅱ 実践編】

第2章 事前の取り組み	2
(1) 日常的な備え	2
(2) 近く大雨が予想される場合の備え	2
(3) マニュアル整備	2
(4) 事前訓練の推奨	2

第3章 被災後の対応	3
(1) 復旧対応のフロー	3
(2) チェックシート1による確認	4
(3) チェックシート2による確認	5

【Ⅲ 資料編】

第4章 個別機場資料	6
(別紙1) 施設状況表	6
(別紙2) 連絡表	7
(別紙3) チェックシート1	8
(別紙4) チェックシート2 (浸水深レベル1)	9
〃 (浸水深レベル2)	13
〃 (浸水深レベル3)	17
・ 図面	21

【I 基本編】

第1章 基本方針

(1) 復旧目標

《復旧目標》

排水機場が浸水被害を受けた後、当面の排水機能を維持出来る状態（仮復旧）に速やかに回復させる。

大雨等で排水機場が浸水しある水位まで設備が水に浸かってしまうと、電気系統は絶縁不良となり、補機類および燃料にも水が浸入し、モーターポンプ・エンジンポンプ共に排水機能を失ってしまう。その後適切な点検・整備・部品の交換などを行ない仮復旧する事で、ポンプを再稼働し当面の排水機能を維持する事が可能となる。

本マニュアルは浸水後のさらなる雨に備えて、必要となる排水能力を当面の間確保するために必要となる整備内容等を事前に整理しておき、速やかに仮復旧出来るようにする。

また、仮復旧はあくまでも被災時から当面の運転に備えるものであり、仮復旧の対象としない設備も含め、今後被災前と同じように運用および維持管理を進めるため、機場設備全体の仮復旧が改めて必要となる。

(2) 対象設備範囲

排水機場を構成する設備のうち、主ポンプ設備、主ポンプ駆動設備、系統機器設備（燃料系統、冷却水系統、始動系統、満水系統、潤滑油系統）、電源設備（自家発電設備、受電気盤等）、除塵設備など、排水機場の排水機能を復旧するのに必要最低限の設備を対象とする。

参考:

「土地改良施設管理基準及び運用・解説-排水機場編-」

(平成 20 年 9 月、農林水産省農村振興局整備部水資源課)

「豪雨に対する備えと対応(参考事例集)排水機場編」

(農林水産省農村振興局)

【Ⅱ 実践編】

第2章 事前の取り組み

本マニュアルの本題は浸水後の仮復旧であるが、事前にできる限りの準備をしておく事が重要である。

(1) 日常的な備え

- 過去の湛水被害を整理し把握しておく。
- 機場周辺および遊水池にゴミはたまっていないか
- 水中ポンプや清掃道具はどこにどれだけあるか
- 業者との災害協定締結（建設業者、除塵機業者、ポンプ業者）
- 地区内の作付状況を把握しておく。（運転の判断に活用）
- 自治体で作成している地区のハザードマップを確認する。
- 自治体で作成している水防計画または地域防災計画（風水害等災害対策計画）の確認。
- その他（ ）



(2) 近く大雨が予想される場合の備え

- 各種気象情報を活用する。
- 下方の棚および床に置いてある備品等は高い場所に移動する。
- 予備排水を行なうなど、水位管理を徹底する。
- 災害協定締結業者の確認を行なう。（発電機、水中ポンプなど）
- その他（ ）



(3) マニュアル整備

- 連絡表は漏れがないか。
- チェック表の対象設備は漏れ・間違いがないか。
- 浸水深によって発注が必要となる可能性がある部品は把握しているか。
- 排水機場が浸水した場合のシミュレーションは出来ているか。
- マニュアルの存在は関係者で共有出来ているか。
- 保管場所は機場が浸水時に閲覧可能な場所であること。
- その他（ ）



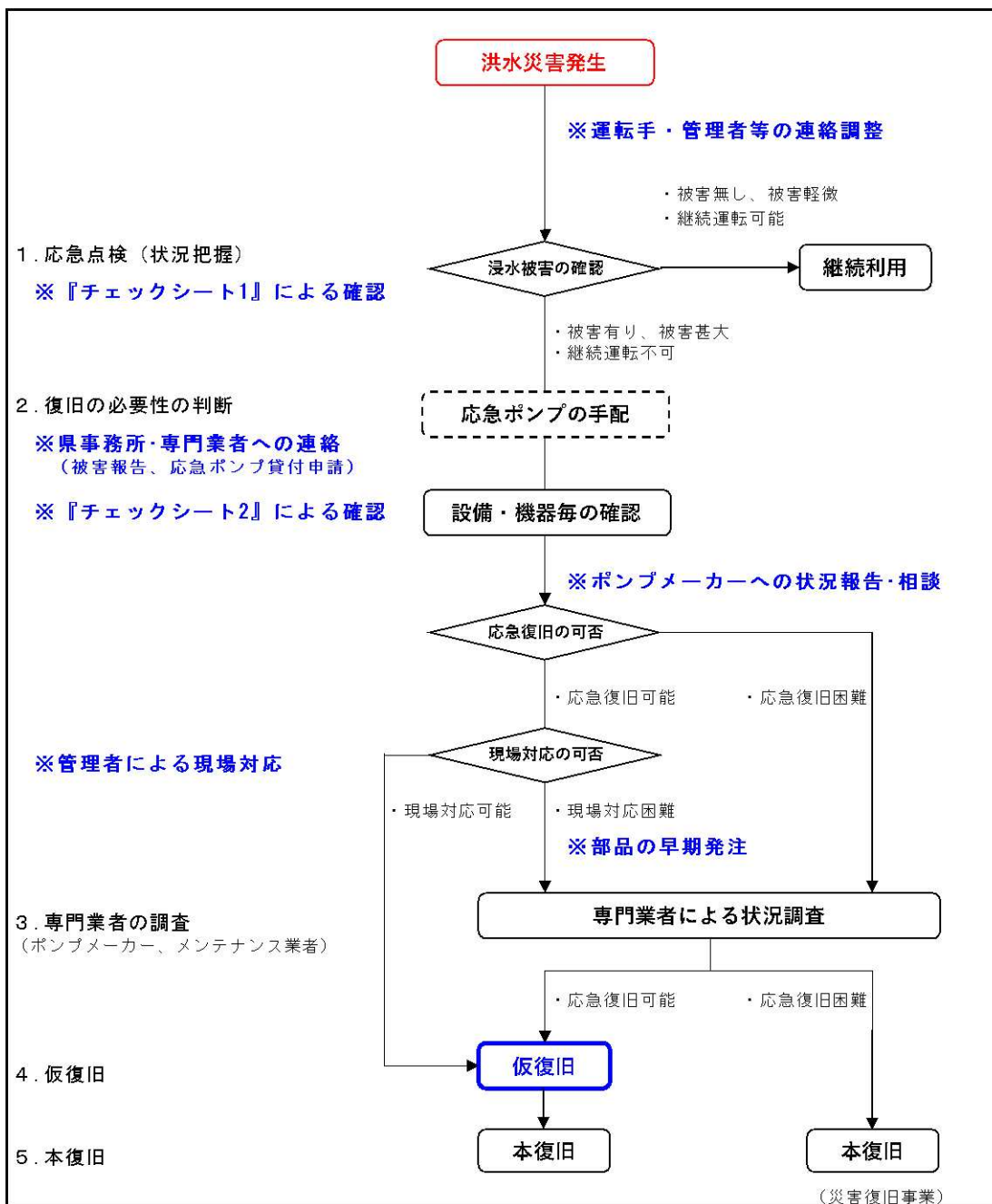
(4) 事前訓練の推奨

上記チェックシートを利用して、浸水被害後に迅速に状況把握および復旧対応が出来るかどうか、事前に関係者でシミュレーションを行う事が望ましい。

第3章 被災後の対応

浸水被害対策として、『復旧対応のフロー』に従って順番に実施する。

(1) 復旧対応のフロー



(2) チェックシート1による確認

実際に洪水被害が発生した際はチェックシート1を活用する。

- ① 浸水被害があった場合は、排水機場建屋の床仕上げ面より何mの浸水深となったか、記入する。電気、水道、ポンプの稼働状況の有無を記入する。
- ② 仮復旧までに時間を要すると判断される場合は、応急ポンプの手配をする。
- ③ 浸水位がどの浸水位範囲に当てはまるか確認し、チェックを入れる。その際の浸水深レベルを確認し、使用する「(別紙4) チェックシート2」を選択する。

(別紙3) チェックシート1

※このチェックシートは浸水被害後に、管理者または運転手が施設の状態を記入し、管理者が応急対策の必要性や災害復旧の優先度等を把握するために使用します。

状況把握チェックシート(浸水被害)						
①	確認日時	令和 年 月 日 時 分	確認者			
	施設名	△△△△ 排水機場	管理者	〇〇〇土地改良区		
	施設の住所	××市〇〇町△△番地	連絡先	05△△-××-〇〇〇〇		
①現状の把握						
①	浸水深(a)	m	※建屋内床仕上げ面からの浸水深を記入			
③	浸水位(b+a)	EL m	床仕上げ面標高(b)	EL 2.30 m		
	設備の 浸水状況	浸水程度	最高	現在	備考	
		全水没	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		除塵機	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
		主ポンプ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
		補機類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
		電気盤	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
		被害無し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(補足事項)						
①	ポンプの 運転状況	ポンプ能力	M or E	運転可	停止	備考
		φ700	M	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		φ800	E	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(補足事項)						
	インフラの状況	電気	<input type="checkbox"/>	電気が点かない、電源が入らない場合はチェックする。		
		水道	<input type="checkbox"/>	水道が出ない場合はチェックする。		
		道路	<input type="checkbox"/>	排水機場まで、車両が進入出来ない場合はチェックする。		
		(補足事項)				
②今後の対応						
②	応急ポンプ	必要	<input type="checkbox"/>	台希望	所有	台
		場合により必要	<input type="checkbox"/>			
		必要無し	<input type="checkbox"/>			
		(補足事項)				
③浸水深レベルの確認						
		浸水位		使用する(別紙4)チェックシート2	備考	
③	<input type="checkbox"/>	EL 2.30 m より上	EL 2.68 m 以下	浸水深レベル1	ポンプ基礎上部まで	
	<input type="checkbox"/>	EL 2.68 m より上	EL 3.00 m 以下	浸水深レベル2	ポンプ軸芯まで	
	<input type="checkbox"/>	EL 3.00 m より上	EL 4.50 m 以下	浸水深レベル3	全水没まで	

(3) チェックシート2による確認

チェックシート1による確認にて選択したチェックシート2は、ポンプメーカーへ早期にデータ送信し状況報告および相談を行う。

管理者が現場で確認した内容は「状況調査」欄に記入し、「応急復旧可否」「現場対応可否」欄も合わせて、メーカーとのやり取りの中で活用し、迅速な仮復旧対応につなげる。被害があった場合、必要とされる対応のうち現場対応が出来るかと判断すれば、メーカーの現地調査の前に管理者で対応する。交換が必要な部品については早期の発注を検討する。

(別紙4)チェックシート2

【機場名: △△△△△ 排水機場】
【浸水深レベル2: ポンプ軸芯まで】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

確認箇所		被害状況調査表(浸水被害)		※朱書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品				
機器名	部位	確認方法	被害の有無	想定される内容 必要とされる対応	状況調査	応急復旧可否	現場対応可否	
主ポンプ 設備 φ700	立軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高確認又は潤滑油レベルよりドレンし水の浸入を確認する。					
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
	横軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高確認又は潤滑油レベルよりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換			
		タリスポンプ、 タンク、ベルト	目視により確認及び駆動プーリーで動作を確認する。	無				
	水中ポンプ	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
		電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する。					
	手動式弁	ケーブル	電動機と同時に絶縁抵抗を測定する。					
		減速機構	目視により浸水の有無を確認する。					
	電動式弁	開閉動作	手動により開閉動作を行う。					
		減速機構	給油口、油面計で目視により浸水の有無を確認する。	無				
		駆動部	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。 電動機の接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
	主ポンプ 駆動設備	内然機関	開閉動作	手動により開閉動作を行う。	無			
本体			目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高確認又は潤滑油レベルよりドレンし水の浸入を確認する。					
運転用品 (電磁弁等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
電動機		計装用品 (圧力スイッチ等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
		本体	目視により過熱等の閉口部より内部を点検確認する。 動力盤の接続端子部において動力ケーブルを含め絶縁抵抗を測定する。	有	フラッシング洗浄、 コイル乾燥			
		始動制御器	目視により本体外観の破損の有無を確認する。 単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	無				
		始動抵抗器(大ケーブル含む)	目視により本体外観の破損の有無を確認する。 単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	無				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]			
減速機		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高確認又は潤滑油レベルよりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換			
		潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	ウイングポンプで初期段階			
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
		ラジエータ(空冷)	目視により水の浸入を確認する。また、電動機の絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。					
	計装品 (管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]				
流体継手	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高確認又は潤滑油レベルよりドレンし水の浸入を確認する。						
	潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。						
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。						
	作動油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。						
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。						
計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。							

【Ⅲ 資料編】

第4章 個別機場資料

(別紙1) 施設状況表

○施設概要

作成日： R 年 月 日

施設名称	△△△△排水機場
所在地	××市○○町△△番地
電話番号	05△△-××-○○○○
排水機規模	φ700mm×1台(M)
	φ800mm×1台(E)
排水量	m ³ /s
排水先	○級河川 □□川
同一流域内の排水機場	-
施設管理者	××市

○施設状況

ゼロメートル地帯	○
設置年度	H□□年
経過年数	▲▲年 (R 時点)
施設の耐震性	有り
常時排水	有りorなし
流域面積	○○ha
受益面積	××ha

○インフラ被災時対策

【停電】

想定停電時間	□日 (○○市BCP)
運転可能時間	○時間
停電対策	「検討不要」または「検討必要」
対策 (案)	
ソフト対策 (案)	「燃料補給体制の確立、 燃料貯油槽の残油量確認(日常管理)」または「不要」
ハード対策 (案)	「燃料貯油槽の容量確保」または「不要」
備考	補足事項等

【断水】

想定断水時間	□日 (○○市BCP)	
運転可能時間	○時間	
断水対策	「検討不要」または「検討必要」	
対策 (案)		
ソフト対策 (案)	「ポリタンク等による備蓄」または「不要」	
ハード対策 (案)	「設備の無給水化、冷却水槽の容量確保、 井戸水の利用、吸水槽からの給水」または「不要」	
給水を必要とする設備	主ポンプ軸封	主ポンプ軸受
	原動機	減速機
	真空ポンプ	自家発原動機

(別紙2) 連絡表(市町村管理用)

施設名称	△△△△排水機場	排水機規模	φ700mm×1台(M)
所在地	××市○○町△△番地		φ800mm×1台(E)
電話番号	05△△-××-○○○○		
施設管理者	××市		
排水先	○級河川 □□川		
同一流域内の排水機場	-	排水量	m ³ /s

○管理者連絡先

担当部局	××市河川課□□グループ
連絡先	05○○-▲▲-□□□□
担当者	○○ ○○

○農林水産事務所連絡先

担当部局	建設課 調査・団体営・単県グループ
連絡先	05○○-▲▲-□□□□
担当者	○○ ○○

○運転手連絡先

氏名	連絡先	住所
●● ●●	05○○-▲▲-□□□□	○○市△△町大字□□
△△ △△	05○○-▲▲-□□□□	○○市△△町大字□□
●● ●●	05○○-▲▲-□□□□	○○市△△町大字□□
△△ △△	05○○-▲▲-□□□□	○○市△△町大字□□

【ポンプ設備】

○設置業者(ポンプメーカー)

会社名	(株)○○ 名古屋支店
所在地	○○市△△町大字□□
担当課	●●課
連絡先	05○○-▲▲-□□□□
担当者	○○ ○○

○常時のメンテナンス業者

会社名	(株)□□
所在地	○○市△△町大字□□
担当課	○○課
連絡先	05○○-○○-□□□□
担当者	○○ ○○

【電気】 ※停電時の連絡先

会社名	中部電気保安協会 ○○営業所
所在地	○○市△△町大字□□
担当課	●●課
連絡先	05○○-▲▲-□□□□
担当者	○○ ○○

【水道】 ※漏水・断水時の連絡先

会社名	○○ ○○
所在地	○○市△△町大字□□
担当課	●●課
連絡先	05○○-▲▲-□□□□
担当者	○○ ○○

【位置図】

(別紙3)チェックシート1

※このチェックシートは浸水被害後に、管理者または運転手が施設の状況を記入し、管理者が応急対策の必要性や災害復旧の優先度等を把握するために使用します。

状況把握チェックシート(浸水被害)					
確認日時	令和 年 月 日 時 分			確認者	
施設名	△△△△	排水機場		管理者	××市
施設の住所	××市〇〇町△△番地			連絡先	05△△-××-〇〇〇〇
①現状の把握					
浸水深 (a)	m		※建屋内床仕上げ面からの浸水深を記入		
浸水位 (b+a)	EL	m	床仕上げ面標高 (b)	EL	2.30 m
設備の 浸水状況	浸水程度	最高	現在	備考	
	全水没	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	除塵機	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
	主ポンプ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
	補機類	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
	電気盤	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	が浸水する高さ	
	被害無し	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
(補足事項)					
ポンプの 運転状況	ポンプ能力	M or E	運転可	停止	備考
	φ700	M	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	φ800	E	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
(補足事項)					
インフラの状況	電気	<input type="checkbox"/>	電気が点かない、電源が入らない場合はチェックする。		
	水道	<input type="checkbox"/>	水道が出ない場合はチェックする。		
	道路	<input type="checkbox"/>	排水機場まで、車両が進出出来ない場合はチェックする。		
(補足事項)					
②今後の対応					
応急ポンプ	必要	<input type="checkbox"/>	台希望	所有	台
	場合により必要	<input type="checkbox"/>			
	必要無し	<input type="checkbox"/>			
(補足事項)					
③浸水深レベルの確認					
	浸水位			使用する(別紙4)チェックシート2	備考
<input type="checkbox"/>	EL	2.30 m より上	EL 2.68 m 以下	浸水深レベル1	ポンプ基礎上部まで
<input type="checkbox"/>	EL	2.68 m より上	EL 3.00 m 以下	浸水深レベル2	ポンプ軸芯まで
<input type="checkbox"/>	EL	3.00 m より上	EL 4.50 m 以下	浸水深レベル3	全水没まで

(別紙4)チェックシート2

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル1: **ポンプ基礎上部まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否	
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応				
主ポンプ設備 φ700	立軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/	
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	
	横軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無				
		グリスポンプ、タンク、ベルト	目視により確認及び駆動プーリーで動作を確認する。	無				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
	水中ポンプ	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	/
		ケーブル	電動機と同時に絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	/
	手動式弁	減速機構	目視により浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	/
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。	/	/	/	/	/
	電動式弁	減速機構	給油口、油面計部で目視により浸水の有無を確認する。	無				
			駆動部	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		電動機の接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無					
			開閉動作	手動により開閉操作を行う。	無			
	主ポンプ駆動設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/
運転用品(電磁弁等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	
計装用品(圧カスイッチ等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	
電動機		本体	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。	無				
			動力盤の接続端子部において動力ケーブルを含め絶縁抵抗を測定する。	無				
		始動制御器	目視により本体外観の破損の有無を確認する。	無				
			単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	無				
		始動抵抗器(2次ケーブル含む)	目視により本体外観の破損の有無を確認する。	/	/	/	/	/
			単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	/
計装品(管・線共)		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無					
減速機		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無				
		潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
		ラジエータ(空冷)	目視により水の浸入を確認する。また、電動機の絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/	/
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
流体継手		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/	/
		潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	/
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	/
		作動油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	/
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	/
	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	/	

(別紙4)チェックシート2

【機場名: △△△△ 排水機場】
 【浸水深レベル1: ポンプ基礎上部まで】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否	
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応				
主ポンプ設備 φ800	立軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/	
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	
	横軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無				
		グリスポンプ、タンク、ベルト	目視により確認及び駆動プーリーで動作を確認する。	無				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
	水中ポンプ	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	/
		ケーブル	電動機と同時に絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	/
	手動式弁	減速機構	目視により浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	/
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。	/	/	/	/	/
	電動式弁	減速機構	給油口、油面計部で目視により浸水の有無を確認する。	無				
			駆動部	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		開閉動作	電動機の接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
			手動により開閉操作を行う。	無				
	主ポンプ駆動設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無			
運転用品(電磁弁等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
計装用品(圧カスイッチ等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
電動機		本体	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。	/	/	/	/	
			動力盤の接続端子部において動力ケーブルを含め絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	
		始動制御器	目視により本体外観の破損の有無を確認する。	/	/	/	/	
			単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	
		始動抵抗器(2次ケーブル含む)	目視により本体外観の破損の有無を確認する。	/	/	/	/	
単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。			/	/	/	/		
計装品(管・線共)		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/		
減速機		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無				
			潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
		ラジエータ(空冷)	目視により水の浸入を確認する。また、電動機の絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/	
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
流体継手		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/	
			潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/	
		作動油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/	
			同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	/	/	/	/
	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/		

(別紙4)チェックシート2

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル1: **ポンプ基礎上部まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応			
燃料系統機器	燃料貯油槽	タンク本体	タンク油量の上昇等の異常の有無を確認する。	無			
		油面計	目視により外観点検し、指示値の異常の有無を確認する。	無			
	燃料小出槽	タンク本体	目視・ヒヤリングにより浸水有無確認した上で疑わしい場合は、外部ドレン配管よりドレンし確認する。	無			
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
	燃料移送ポンプ	ポンプ本体	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
配管・弁	電動・電磁弁類	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
冷却水系統機器	クーリングタワー	クーリングタワー本体	目視により開口部から内部を確認する	無			
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する	無			
	冷却水槽	タンク本体	点検マンホールから内部を目視点検し、汚れ・濁り等異常を確認する。	無			
	冷却水ポンプ(水中)	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する	無			
	冷却水ポンプ(立軸、横軸)	軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/
		電動機	目視で通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	配管・弁	電磁弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		電動弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
フローリレー		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
始動系統機器	空気圧縮機	圧縮機本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無			
		駆動電動機	目視で通気等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	無			
	駆動ディーゼル機関	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/	
	始動空気槽	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
満水系統機器	真空ポンプ	ポンプ本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無			
		同上電動機	目視で通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
	補水槽	タンク本体	点検マンホールから内部を目視点検し、汚れ・濁り等異常を確認する。	無			
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
	配管・弁	電磁弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		電動弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
満水検知器		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
潤滑油系統機器	潤滑油槽	本体	油量異常増加の確認及びドレン口よりドレンをサンプリングして確認する	/	/	/	/
		油面計	目視により外観点検し、指示値の異常の有無を確認する。	/	/	/	/
	潤滑油ポンプ	潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		同上電動機	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	クーラファン	同上電動機	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	計器	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
給排気系統機器	消音器	本体	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			

(別紙4)チェックシート2

【機場名: △△△△ 排水機場】
 【浸水深レベル1: ポンプ基礎上部まで】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応			
電源設備	受電盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	変圧器盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	低圧配電盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	直流電源盤	表示	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	ポンプ操作盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	補機盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
自家発電設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンして水の浸入を確認する。	無			
		運転用品(電磁弁等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		計装用品(圧カスイッチ等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
	発電機	コイル部	目視により通気口等の開口部から内部を点検確認する。	無			
			発電機盤の接続端子部においてケーブルを含め測定する。	無			
	発電機盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
内部		目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無				
二次側		遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無				
除塵設備	除塵機	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
	巻上機	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
	搬送装置	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。				
	貯留装置	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。				
	機側操作盤	内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
天井クレーン	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。					

(別紙4)チェックシート2

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル2: **ポンプ軸芯まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否	
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応				
主ポンプ設備 φ700	立軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。					
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
	横軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換			
		グリスポンプ、タンク、ベルト	目視により確認及び駆動プーリーで動作を確認する。	無				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
	水中ポンプ	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する。					
		ケーブル	電動機と同時に絶縁抵抗を測定する。					
	手動式弁	減速機構	目視により浸水の有無を確認する。					
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。					
	電動式弁	減速機構	給油口、油面計部で目視により浸水の有無を確認する。	無				
		駆動部	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
			電動機の接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。	無				
	主ポンプ駆動設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。				
運転用品(電磁弁等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
計装用品(圧カスイッチ等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
電動機		本体	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。 動力盤の接続端子部において動力ケーブルを含め絶縁抵抗を測定する。	有	フラッシング洗浄、 コイル乾燥			
		始動制御器	目視により本体外観の破損の有無を確認する。 単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	無				
		始動抵抗器(2次ケーブル含む)	目視により本体外観の破損の有無を確認する。					
			単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。					
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]			
減速機		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換			
		潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	ウイングポンプで初期潤滑			
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
		ラジエータ(空冷)	目視により水の浸入を確認する。また、電動機の絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。					
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]			
流体継手		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。					
	潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。						
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。						
	作動油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。						
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。						
	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。						

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル2: **ポンプ軸芯まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否	
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応				
主ポンプ設備 φ800	立軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/				
	横軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換			
		グリスポンプ、タンク、ベルト	目視により確認及び駆動プーリーで動作を確認する。	無				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
	水中ポンプ	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する。	/				
		ケーブル	電動機と同時に絶縁抵抗を測定する。	/				
	手動式弁	減速機構	目視により浸水の有無を確認する。	/				
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。	/				
	電動式弁	減速機構	給油口、油面計部で目視により浸水の有無を確認する。	無				
		駆動部	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
			電動機の接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。	無				
	主ポンプ駆動設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換		
運転用品(電磁弁等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[手動運転のため対象外]			
計装用品(圧カスイッチ等)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[手動運転のため対象外]			
電動機		本体	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。 動力盤の接続端子部において動力ケーブルを含め絶縁抵抗を測定する。	/				
		始動制御器	目視により本体外観の破損の有無を確認する。 単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	/				
		始動抵抗器(2次ケーブル含む)	目視により本体外観の破損の有無を確認する。 単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	/				
			計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/			
		減速機	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換		
潤滑油ポンプ			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	ウイングポンプで初期潤滑			
同上電動機			盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
ラジエータ(空冷)			目視により水の浸入を確認する。また、電動機の絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/				
計装品(管・線共)			目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]			
流体継手		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/				
		潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/				
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	/					
	作動油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/					
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	/					
	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/					

(別紙4)チェックシート2

【機場名: △△△△ 排水機場】
 【浸水深レベル2: ポンプ軸芯まで】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応			
燃料系統機器	燃料貯油槽	タンク本体	タンク油量の上昇等の異常の有無を確認する。	無			
		油面計	目視により外観点検し、指示値の異常の有無を確認する。	無			
	燃料小出槽	タンク本体	目視・ヒヤリングにより浸水有無確認した上で疑わしい場合は、外部ドレン配管よりドレンし確認する。	無			
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
	燃料移送ポンプ	ポンプ本体	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
配管・弁	電動・電磁弁類	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
冷却水系統機器	クーリングタワー	クーリングタワー本体	目視により開口部から内部を確認する	無			
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する	無			
	冷却水槽	タンク本体	点検マンホールから内部を目視点検し、汚れ・濁り等異常を確認する。	無			
	冷却水ポンプ(水中)	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する	無			
	冷却水ポンプ(立軸、横軸)	軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/
		電動機	目視で通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	配管・弁	電磁弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		電動弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		フローリレー	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
始動系統機器	空気圧縮機	圧縮機本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無			
		駆動電動機	目視で通気等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	無			
		駆動ディーゼル機関	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/
	始動空気槽	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
満水系統機器	真空ポンプ	ポンプ本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	無			
		同上電動機	目視で通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
	補水槽	タンク本体	点検マンホールから内部を目視点検し、汚れ・濁り等異常を確認する。	無			
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
	配管・弁	電磁弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		電動弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
満水検知器		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無				
潤滑油系統機器	潤滑油槽	本体	油量異常増加の確認及びドレン口よりドレンをサンプリングして確認する	/	/	/	/
		油面計	目視により外観点検し、指示値の異常の有無を確認する。	/	/	/	/
	潤滑油ポンプ	潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		同上電動機	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	クーラファン	同上電動機	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	計器	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
給排気系統機器	消音器	本体	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			

(別紙4)チェックシート2

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル2: **ポンプ軸芯まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応			
電源設備	受電盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	変圧器盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	低圧配電盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	直流電源盤	表示	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	低圧電動機制御盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
	補機盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無			
自家発電設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンして水の浸入を確認する。	無			
		運転用品(電磁弁等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
		計装用品(圧カスイッチ等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無			
	発電機	コイル部	目視により通気口等の開口部から内部を点検確認する。	無			
			発電機盤の接続端子部においてケーブルを含め測定する。	無			
	発電機盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	無			
内部		目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無				
二次側		遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	無				
除塵設備	除塵機	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
	巻上機	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無			
	搬送装置	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。				
	貯留装置	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。				
	機側操作盤	内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	無			
天井クレーン	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。					

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル3: **全水没まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否		
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応					
主ポンプ設備 φ700	立軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。						
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。						
	横軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	【主ポンプ電動機使用不可につき運転不可】 (フラッシング洗浄、潤滑油交換)				
		グリスポンプ、タンク、ベルト	目視により確認及び駆動プーリーで動作を確認する。	有	【グリスタンク内の水を除去】 グリス交換				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無					
	水中ポンプ	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する。						
		ケーブル	電動機と同時に絶縁抵抗を測定する。						
	手動式弁	減速機構	目視により浸水の有無を確認する。						
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。						
	電動式弁	減速機構	給油口、油面計部で目視により浸水の有無を確認する。	有	【主ポンプ電動機使用不可につき運転不可】 (水の除去、洗浄)				
		駆動部	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	(水の除去、洗浄)				
			電動機の接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	有	(洗浄、乾燥)				
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。	有	(手動にて開閉操作確認)				
	主ポンプ駆動設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。					
			運転用品(電磁弁等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
			計装用品(圧カスイッチ等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
		電動機	本体	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。	有	【使用不可】			
				動力盤の接続端子部において動力ケーブルを含め絶縁抵抗を測定する。	有				
始動制御器			目視により本体外観の破損の有無を確認する。	有					
			単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。	有					
始動抵抗器(2次ケーブル含む)			目視により本体外観の破損の有無を確認する。						
単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。									
計装品(管・線共)		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無						
減速機		本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	【主ポンプ電動機使用不可につき運転不可】 (フラッシング洗浄、潤滑油交換)				
		潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	(ウイングポンプで初期潤滑)				
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無					
		ラジエータ(空冷)	目視により水の浸入を確認する。また、電動機の絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。						
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無					
流体継手	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。							
	潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。							
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。							
	作動油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。							
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。							
	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。							

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル3: **全水没まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応			
主ポンプ設備 φ800	立軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。				
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。				
主ポンプ 駆動設備	横軸ポンプ	外部軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換		
		グリスポンプ、タンク、ベルト	目視により確認及び駆動プーリーで動作を確認する。	有	グリスタンク内の水を除去 グリス交換		
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]		
	水中ポンプ	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する。				
		ケーブル	電動機と同時に絶縁抵抗を測定する。				
	手動式弁	減速機構	目視により浸水の有無を確認する。				
		開閉動作	手動により開閉操作を行う。				
	電動式弁	減速機構	給油口、油面計部で目視により浸水の有無を確認する。	有	水の除去、洗浄		
		駆動部	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	水の除去、洗浄		
			電動機の接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	有	洗浄、乾燥		
開閉動作		手動により開閉操作を行う。	有	手動にて開閉操作			
主ポンプ 駆動設備	内燃機関	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	シリンダ内の水抜き、 フラッシング洗浄、 潤滑油交換		
		運転用品(電磁弁等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[手動運転のため対象外]		
		計装用品(圧カスイッチ等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[手動運転のため対象外]		
	電動機	本体	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。				
			動力盤の接続端子部において動力ケーブルを含め絶縁抵抗を測定する。				
		始動制御器	目視により本体外観の破損の有無を確認する。				
			単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。				
		始動抵抗器(2次ケーブル含む)	目視により本体外観の破損の有無を確認する。				
	単体で対地、相間の絶縁抵抗を測定する。						
	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
	減速機	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換		
		潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	ウイングポンプで初期潤滑		
同上電動機		盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無				
ラジエータ(空冷)		目視により水の浸入を確認する。また、電動機の絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。					
計装品(管・線共)		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]			
流体継手	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。					
	潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。					
	作動油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					
	同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。					
	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。					

(別紙4)チェックシート2

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル3: **全水没まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応			
燃料系統機器	燃料貯油槽	タンク本体	タンク油量の上昇等の異常の有無を確認する。	有	清掃		
		油面計	目視により外観点検し、指示値の異常の有無を確認する。	有	清掃		
	燃料小出槽	タンク本体	目視・ヒヤリングにより浸水有無確認した上で疑わしい場合は、外部ドレン配管よりドレンし確認する。	有	清掃		
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]		
	燃料移送ポンプ	ポンプ本体	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	ウイングポンプで手動補給		
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	無	[手動操作のため対象外]		
配管・弁	電動・電磁弁類	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	清掃			
冷却水系統機器	クーリングタワー	クーリングタワー本体	目視により開口部から内部を確認する	有	清掃		
		同上電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する	有	洗浄乾燥		
	冷却水槽	タンク本体	点検マンホールから内部を目視点検し、汚れ・濁り等異常を確認する。	無			
	冷却水ポンプ(水中)	電動機	地上部ケーブル端子接続部で絶縁抵抗を測定する	有	洗浄乾燥		
	冷却水ポンプ(立軸、横軸)	軸受部	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/
		電動機	目視で通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	配管・弁	電磁弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		電動弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[手動操作のため対象外]		
フローリレー		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]			
始動系統機器	空気圧縮機	圧縮機本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	フラッシング洗浄、 潤滑油交換		
		駆動電動機	目視で通気等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	有	洗浄乾燥		
	駆動ディーゼル機関	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	/	/	/	/	
	始動空気槽	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[エンジン始動時は目視確認]		
満水系統機器	真空ポンプ	ポンプ本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンし水の浸入を確認する。	有	清掃		
		同上電動機	目視で通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	有	洗浄乾燥		
	補水槽	タンク本体	点検マンホールから内部を目視点検し、汚れ・濁り等異常を確認する。	有	清掃		
		計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[運転中は目視確認]		
	配管・弁	電磁弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		電動弁	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	無	[手動操作のため対象外]		
満水検知器		目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	清掃			
潤滑油系統機器	潤滑油槽	本体	油量異常増加の確認及びドレン口よりドレンをサンプリングして確認する	/	/	/	/
		油面計	目視により外観点検し、指示値の異常の有無を確認する。	/	/	/	/
	潤滑油ポンプ	潤滑油ポンプ	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
		同上電動機	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	クーラファン	同上電動機	目視により通気口等の開口部より内部を点検確認する。また、絶縁抵抗は、盤内接続端子部で測定する。	/	/	/	/
	計器	計装品(管・線共)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	/	/	/	/
給排気系統機器	消音器	本体	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有	水抜き作業		

【機場名: **△△△△ 排水機場**】
 【浸水深レベル3: **全水没まで**】

※φ700横軸ポンプ(M)、φ800横軸ポンプ(E)

被害状況調査表(浸水被害)

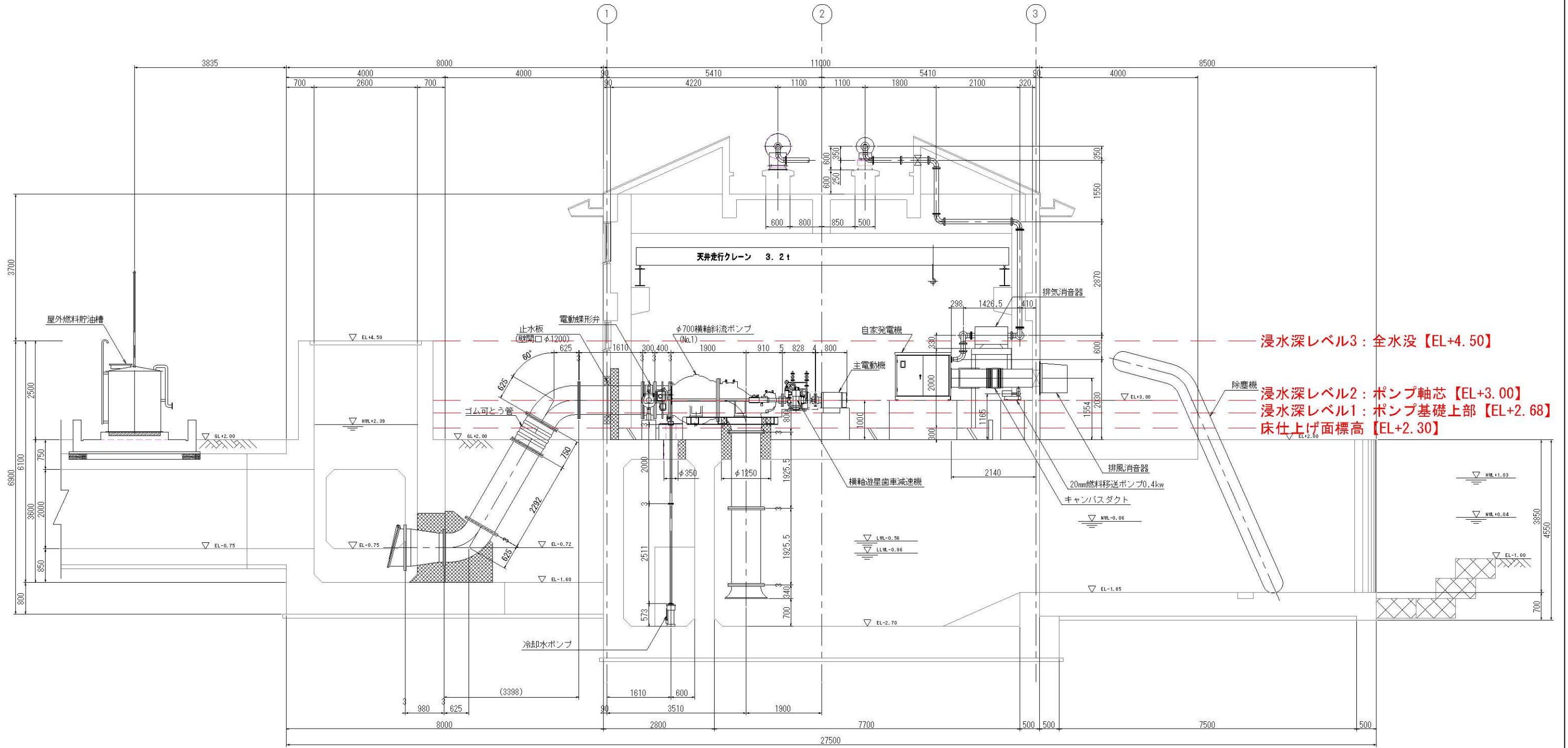
※未書きは浸水した設備のうち交換が必要な部品

確認箇所		確認方法	想定される内容		状況調査	応急復旧可否	現場対応可否
機器名	部位		被害の有無	必要とされる対応			
電源設備	受電盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	有	【使用不可】 (本復旧対応)		
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	有			
	変圧器盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	有	【使用不可】 (本復旧対応)		
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	有			
	低圧配電盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	有	【使用不可】 (本復旧対応)		
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	有			
	直流電源盤	表示	目視により正常・異常表示の確認をする。	有	【使用不可】 (本復旧対応)		
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	有			
	低圧電動機制御盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	有	【使用不可】 (本復旧対応)		
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	有			
	補機盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	有	【使用不可】 (本復旧対応)		
		内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有			
		二次側	遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	有			
自家発電設備	内燃機関設備	本体	目視による外観確認及び油面計等の油量変化(異常高)確認又は潤滑油ドレン口よりドレンして水の浸入を確認する。	有	【使用不可】 (本復旧対応)		
		運転用品(電磁弁等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有			
		計装用品(圧カスイッチ等)	目視・ヒヤリングにより浸水の有無を確認する。	有			
	発電機	コイル部	目視により通気口等の開口部から内部を点検確認する。	有			
			発電機盤の接続端子部においてケーブルを含め測定する。	有			
	発電機盤	表示灯	目視により正常・異常表示の確認をする。	有			
内部		目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有				
二次側		遮断器動作部については、負荷側の絶縁抵抗を測定する。	有				
除塵設備	除塵機	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	有	洗浄乾燥		
	巻上機	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。	有	洗浄乾燥		
	搬送装置	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。				
	貯留装置	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。				
	機側操作盤	内部	目視により盤内配線・リレー等に焼損発生の有無及び遮断器の動作の有無を確認する。	有	洗浄乾燥		
天井クレーン	駆動部電動機	盤内接続端子部で絶縁抵抗を測定する。					

※制御盤水没のため、全て手で動かす必要あり。

※補機を動作させるための電源(仮設発電機、制御盤)と仮設配線を準備する必要あり。

据付断面図 (A-A) S=1:50



- 浸水深レベル3 : 全水没【EL+4.50】
- 浸水深レベル2 : ポンプ軸芯【EL+3.00】
- 浸水深レベル1 : ポンプ基礎上部【EL+2.68】
- 床仕上げ面標高【EL+2.30】